コース番号：26-20-12-134-046

在庫管理の進め方

講師から

在庫管理は難しい計算を覚えることが目的ではありません。セミナーは自社では何をして、何を割り切れるかが分かる事がゴールです。明日からの判断に使える内容でお伝えします。

受講料 3，300円（税込）

実施日時	10月14日（水） 10:00～17:00（6時間）
会場	茅野商工会議所 （茅野市塚原1−3−20）
対象者	初任層、中堅層
定員	15名 （先着順。最少催行人数6名）
講師	経営創研株式会社 浅井　満 氏
申込締切	9月18日（金）

※受講の申込方法は裏面をご覧ください。

生産性向上支援訓練のオープンコース最新情報はこちら（HP）
⇒https://www3.jeed.go.jp/matsumoto/poly/seisan-open.html

【主催】 独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構
Japan Organization for Employment of the Elderly, Persons with Disabilities and Job Seekers
長野支部長野職業能力開発促進センター

【共催】 諏訪商工会議所、岡谷商工会議所、下諏訪商工会議所、茅野商工会議所、松本商工会議所
安曇野市商工会、塩尻商工会議所、大町商工会議所、松本ものづくり産業支援センター

【後援】 NPO諏訪圏ものづくり推進機構、岡谷市/テクノプラザおかや、ものづくり支援センターしもすわ、
茅野市精密工業連合会、茅野・産業振興プラザ、松本機械金属工業会、中信溶接協会、
諏訪信用金庫、松本信用金庫

【訓練に関するお問い合わせ】
独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構長野支部
長野職業能力開発促進センター　松本訓練センター
ポリテクセンター松本　生産性向上人材育成支援センター
TEL 0263-58-3392　FAX 0263-58-5062

※お申し込み後の変更やキャンセルに関するお問い合わせは、裏面記載のポリテクセンター長野へご連絡願います。

コース名	在庫管理の進め方
コースのねらい	コスト管理及び納期管理の視点による定量管理手法による業務改善目標の作成方法を理解して、コスト削減に必要な知識・技能を習得する。

講義内容	基本項目		主な内容	時間(H)
	1	在庫管理の考え方	(1)在庫管理の対象と在庫管理業務の機能 原材料・仕掛品・製品等の在庫種類ごとの役割(在庫場所と数量の理由)を理解することが重要。在庫は欠品を防ぎ生産や販売を安定させるが、倉庫コストと現金凍結を生む。購買・生産・販売ごとに在庫へのニーズが異なるため、在庫管理は在庫量把握と適正水準維持、保管と作業の効率化の役目を担うことを理解する。 (2)在庫品の評価方法 在庫品は、先入先出法や総平均法などの計算方法により評価額が変わる。在庫評価は会計処理や利益計算に影響を与えるだけでなく、在庫回転率などの管理指標の解釈にも影響する。代表的な評価方法の違いを整理し、会計上の評価と在庫管理の目的は必ずしも一致しないことを理解し、評価方法特性を鑑み判断にどのように活かすか理解する。 (3)在庫回転率と資金繰りの関係 在庫回転率は在庫効率を示す指標であり、資金繰りに影響する。在庫が過剰になると、売上や利益が出ても資金(キャッシュフロー)が滞留する。在庫回転率の考え方と計算方法を確認し、在庫水準が資金繰りや投資活動や債務管理などに、どのような影響を与えるかを理解する。	2.0
	2	在庫の適正化について	(1)棚卸差異の分析と精度向上 棚卸差異は、在庫管理の精度を示す重要な指標であり、業務上の問題を把握する指標となる。差異は記録のミスや漏れ、入出庫管理の不備、タイムラグなど、複数の要因から発生する。棚卸差異を単なる誤差や責任追及として扱うのではなく、在庫管理業務を見直すための情報として分析し、管理精度を高める考え方を学ぶ。 (2)発注点・安全在庫の設定、在庫回転率 発注点には時間軸と数量軸があり、安全在庫は欠品防止と過剰在庫削減を両立させる機能がある。需要のばらつきや補充方法を考慮しないと、欠品や在庫過剰を招く。発注点と安全在庫の設定が、在庫回転率に影響する関係性を整理し、計算結果をそのまま使うのではなく、制約条件や各種状況に応じて判断する重要性を理解する。 (3)発注リードタイムと在庫回転日数の適正値 発注リードタイムは在庫水準に影響を与える要素であり、在庫回転日数にも影響を与える。発注リードタイムには、発注処理、製造、輸送など複数の要素が含まれ、名目上と実際のリードタイムが異なる場合も多い。リードタイムの構成要素を分解し、改善可能な部分と改善が難しい部分を整理し、実務の適正な在庫水準の考え方を学ぶ。	2.0
	演習		以下の演習をグループワークにより実施し、在庫管理のノウハウを体得させる ①課題を通じた在庫量・発注量・需要量の算出:需要量や欠品率などの与件から発注量を計算する ②棚卸記録と差異分析シミュレーション:入出庫や保管業務にて発生し得る在庫差異の原因を考える ③簡易在庫シミュレータ作成:在庫推移一覧表を与え、需要やリードタイムの変動による影響を考える	2.0

受講申込の手順

※令和8年度より、FAXでの申込は受け付けておりません

ポリテク松本のホームページから、「生産性向上支援訓練受講申込書」をダウンロードしてください。

必要事項を記入し、申込締切日までにポリテク長野宛て(下記送信先)電子メールで送付してください。

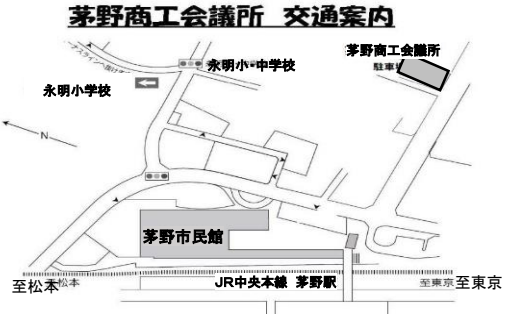
申込書がポリテク長野に到着後、申込担当者様に受講料支払い手続き等についてご連絡いたしますので、指示に従ってください。

受講申込書送信先 ： nagano-seisan@jeed.go.jp

会場案内

茅野商工会議所
(茅野市塚原1-3-20)

車でお越しの方は会場の駐車場(無料)をご利用ください。



●お問い合わせ
独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構長野支部
長野職業能力開発促進センター
ポリテクセンター長野 生産性向上人材育成支援センター Tel 026-243-1290
ポリテク長野 生産性オープン